

重要事項報告書は公式文書となるため、黒のボールペンまたは黒ペンで主審が全て記載します。大会名、試合時間、対戦、日時については審判報告書と同様に記入します。

審判報告書（重要事項）

大会名 第●●回 市原市サッカー協会会長杯争奪少年サッカー大会 ●回戦 Bブロック 第●試合

試合時間 40 分 ~~延長戦~~ 分 ← 該当しない項目は横線で消し込む

試合 A A F C 対 B F C B

日時 2018 年 10 月 10 日（日） 10 時 03 分 キックオフ

退場、その他の重要事項についての詳細 報告書同様、開始予定時刻ではなく、実際の開始時間を記入

7分、FCBの示威 叡智選手（背番号5）は、AFCの背番号10志位 禰選手がペナルティエリア付近でGKをかわし、シュートしたボールを手で止めて決定的な得点の機会を阻止した。これにより、示威選手を退場処分とした。

何分に、誰が、誰に対して、どういう状況でどのような行為をしたかを具体的に記載します

一発退場以外で重要事項報告書に記載する必要のある事項

- ①競技者・交代要員以外のチーム役員に懲戒罰（警告・退場）相当の行為があった場合（氏名（フルネーム）、言動の内容を具体的に記載）
- ②主審の懲戒罰則を適用することのできない時間帯での懲戒罰相当の行為があった場合
- ③副審や第4の審判員に問題があった場合

審判報告書作成時の警告記入事例

どういう状況で、誰に、どうしたかを具体的に記載する。警告の理由間違いや記入不足に注意する。

例1) 反則(反) 相手競技者の腕を後方より露骨に引っ張り、前進を妨げた。

例2) 反則(反) ボールを手で扱い、利益を得ようとした。

例3) 反則(ラ) 相手のドリブル突破に対して無謀にチャージし、相手を倒した。

例4) 反則(異) 主審の判定に対してボールを地面にたたきつけ、異議を示した。

例5) 反則(距) 相手のFK再開の直前に7mの壁から飛び出してキックを妨害した。

例6) 反則(遅) 相手のスローイングのボールを相手に渡さず、持ち去った。

例7) 反則(遅) ゴールキックの際、ボールを何度も置き直し意図的に再開を遅らせた。

★間違い例 反則(距)相手FKによる再開をボールの前に立って再開を遅らせた⇒反則(遅)

以上のとおり報告いたします。

2018 年 10 月 10 日

本欄は直筆で記入します

日付は西暦表記とする

署名 市原 勇也

市原市サッカー協会会長 殿

試合を主催した各種協会の会長宛として記入する